

## 日本の人口動態の変化と生命保険事業

### --- 第三回: 課題とチャンス ---

前回のレポートでも触れたように、公的年金制度は高齢者の所得保障において重要な役割を果たしている。一方、1961年に導入された国民健康保険制度は、健康保険の国民皆保険を実現した。また、老人福祉法として知られる高齢者のための特別医療制度も1963年に制定された。これらの社会保険制度が国民の健康を守ることに重要な役割を果たしてきたことは言を俟たない。特に1973年に実施された後者の法改正により高齢者の医療費が無料化したことの意味は大きい。

しかしながら1980年代からの日本の急速な高齢化は上記の社会福祉制度にとって大きな課題となってきたため、増え続ける公的年金や医療費のコスト削減を目的とした様々な改革が行われてきた。これらの公的医療制度に関する最も大きな改革として二つが挙げられる。まず一つ目は、1982年に公布され1983年に施行された老人保健法によって、高齢者も医療費の一部自己負担が求められることとなったことである。二つ目は、健康保険法改正により実施された従業員の医療費の自己負担分の計算方法の変更、すなわち定額法に代わり定率法が導入されたことである。



後期高齢者医療制度として知られる75歳以上の高齢者に対する新制度に基づき、高齢者の自己負担額が2008年以降更に増加することは特筆に値する。これに止まらず、将来の給付額の削減、保険料や年金受給年齢の引き上げなど、公的年金制度に関する改革が進められた。一方、2000年4月に高齢者介護を主とした新しい国民健康保険制度として介護保険が導入された。

しかし、急速な高齢化や少子化の問題に加えて長引く日本経済の停滞は、前述の社会保障制度を持続可能にするための十分な財源確保を一層難しくしている。事実、1980年代半ばから、政府は高齢化社会の到来に伴う問題に対処するために、保険業界に対して積極的な役割を果たすことを要請するようになった。例えば、1985年には、首相官邸の社会保障制度改革推進本部が、民間部門に対して高齢者サービスの提供に力を入れるよう提言している。一方、財務大臣の諮問機関である保険審議会は、生命保険会社に対して医療と介護関連の商品開発に努めるよう要請した。

これらの要請に応じて、1980年代後半には様々なタイプの医療・介護商品生まれた。しかし、2001年の改正保険法の施行まで、ほとんどの国内生命保険会社はこれらのいわゆる第三分野の保険商品の販売が認可されていなかったため、医療・介護商品のほとんどは主契約ではなく付帯契約すなわち特約として付加する形で設計されていた。改正保険業法



の施行後、介護商品とは大きく異なり、単品・特約を問わず医療保険関連分野の市場は著しい成長を続けている。

一方、1980年代後半から消費者ニーズが生存給付から死亡給付へ移行していることが見受けられる。実際、終身保険商品と定期保険商品のマーケットシェアは上昇傾向にあるが、養老保険のマーケットシェアは下降傾向を見せている。そうした傾向の勢いは1990年代半ばにピークに達したものの、依然として続いている。(終身保険商品と定期保険商品のマーケットシェアは上昇傾向にあるが、養老保険のマーケットシェアは1990年代半ばにピークに達したものの、以後は下降傾向にある。)概して最近の日本での人気商品は終身タイプの保険及び医療保障タイプの保険である。これは顧客が、将来にわたって自分の家族の経済的な保障を確保すること及び自分自身の医療費を確保することに最も関心があるからだ。

将来的な年金額の引き下げや受給年齢の引き上げなど、公的年金制度の改革が行われたにもかかわらず、1990年代以降、個人年金商品市場が緩慢な成長しかしていないことは注目に値する。介護関連商品市場の成長もまた低調で、公的介護保険制度がスタートした2000年以降も大きな変化はない。

しかしながら、生命保険文化センター発行の平成27年度「生命保険に関する全国実態調査」によると、現行の社会保障制度は医療と生活保障のニーズに応じており満足しているという回答は13.2%にとどまり、85%に上る回答者は生命保険や個人年金商品の購入などの自己対策（防衛）が必要であると考えている。一方回答者の42.3%は、そういった自己対策をする経済的な余裕がないと答え、21.6%が健康上の問題や年齢制限のために自己対策はできないと答えている。これらの調査結果から、日本にも生命保険事業を展開する余地がまだあることが読み取れる。

終わり。

\*このレポートは参考のための仮翻訳で、正文は姜英英さん（一橋大学博士）の英文（[http://olis.or.jp/e/report\\_asia.html](http://olis.or.jp/e/report_asia.html)）です。